

団体名・NPO 法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭 (室蘭市)

事業名：「獲物のあるビオトープ」作り

事業概要：室蘭市潮見公園内で、①植樹、②自然観察会（トンボの羽化等）、③自然体験学習（校外学習）

「獲物のあるビオトープ」づくり

昨年に引き続いて北海道 e-水プロジェクトの助成を受けて、「獲物のあるビオトープ」の造成は平成 23 年春の工事で計画を完了することができました。多くの皆様のご支援に感謝致します。

子ども達が自由に遊び、採集もできる「獲物のあるビオトープ」づくりを進めることにより、彼らの健全な生長と郷土の緑化に寄与することを目的に、私達は活動しています。

太平洋に面し、鳴り砂で知られるイタンキ浜に隣接する潮見公園、ここは、海浜植物の豊かな群落、海岸段丘の草地、小さな沢水のある急斜面から背後の小山へといくつもの地形的・生物的要素がコンパクトに集中しています。ここに沢水を利用して、水路と湿地を配することにより、ふる里の多様な生き物を育むことができます。

イタンキでの活動は 1) ビオトープの造成 2) 自然再生の促進・誘導 3) 子ども達の自然体験のサポート の3つの要素からなっています。

1) ビオトープの造成

活動のスタートは平成 10 年まで遡ります。なかなか行政の理解を得ることができず、長い準備期間となりましたが、平成 18 年から現地での造成が可能となりました。多くの企業・団体の助成を仰ぎ、今春までに 2000 m²の水域造成を完了することができました。

2) 自然再生の促進・誘導

自然再生は「失われた室蘭の湿原」をモデルとしています。造成が進み水域としての力がつくにつれ、多様な水生昆虫が見られるようになりました。トンボは 22 種を数え、近郊のヘイケボタルの導入・定着にも成功して、昨年夏「室蘭にホタル復活」を宣言し市民観察会を行いました。順調に繁殖した室蘭在来の淡水魚トミヨを狙って、カワセミまでもが姿を見せるようになり、この「飛ぶ宝石」とも呼ばれる上位の捕食者に自然回復への合格点をいただいたと言えます。

潮風最前線への植樹は活動の早い段階から進めてきたので、早いものは 10 歳を超え、3～4 m に育ち少しは木立らしくなってきました。しかし、この海岸林にイチゲやエンレイソウの群落ができ、セミが鳴くようになるには、まだかなりの時間を要する事でしょう。

3) 子ども達の自然体験のサポート

トンボの羽化やホタルなど季節のテーマに沿って呼びかける観察会、数十名の小学生が長靴にアミを持って参加する授業としての自然体験学習も次第に受け入れ可能となってきました。トンボや魚の捕れる話が伝わって、アミを持った親子の訪れも増えてきました。「獲物のあるビオトープ」でのトンボ捕りや魚すくい、自然の中から技と工夫で獲物をつかまえる体験を多くの子ども達にさせたいと願っています。

